

令和6年度 学校図書館活用計画・評価シート

白地部分：計画策定時記入（年度当初）

水色部分：評価時記入（年度末）

足立区立梅島第一小学校 校長 落合 秀章

1 学校教育目標

- 思いやりのある子 よりよい生活を目指して相手を尊重し、助け合う子
 ○考える子 様々な問題を解決するために、多様な考えをもつ子
 ○たくましい子 困難に直面してもあきらめず、より高い目標に向かって努力し続ける心と体をもつ子

2 現状の学校図書館の課題

- ① 図書館が2階の奥にあり、教室から遠い場所にある。
 ② 多様な情報に気付き、活用できる学校図書館のあり方を探る。
 ③ 高学年の利用を高める。

3 今年度の学校図書館の目標

- ① 児童の読書に対する意欲を盛んにし、豊かな心情と幅広い知識を身に付けさせる。
 ② 多様な資料から目的に応じた情報を選んで課題解決する能力を伸ばす。
 ③ 様々な取り組みを通して本の楽しさに触れ、日常的に本に親しむ態度を養う。
 ④ 学校図書館及び校内の図書にかかわる環境を整え、児童の読書に対する意欲を高める。

4 今年度の重点取組

- ① 学校図書館前の掲示物を工夫する。（新規購入図書・推薦図書・課題図書の紹介等）
 ② 貸し出し冊数は一人4冊までとし、要望に応じて学級文庫としての貸し出しをする。
 ③ 学校図書館で学習が円滑にできるように、図書館資料の整備に努める。

5 教科等における年間指導計画（対象学年は○数字で記載）

教科	内容（学校図書館を活用して取り組む単元等）
国語	①としょかんとなかよし ①じどう車くらべ ②本でしらべてしょうかいしよう②「お話びじゅつかん」を作ろう ③【じょうほう】引用するとき ③ 鳥になったきょうりゅうの話 ④「読書発表会」をしよう ④ クラスの「不思議ずかん」を作ろう ⑤作家で広げるわたしたちの読書 ⑤この本、おすすめします ⑥読書タイムラインを作って交流しよう
社会	④ごみのゆくえ ⑤新聞の情報 ⑥区議会のはたらき
理科	③太陽とかげ ④月や星の見え方 ⑤台風と天気の変化 ⑥月の形と太陽

実践の評価

どの学年も様々な教科の学習で学校図書館を活用する場面が多かった。事前に図書館支援員に教材と関連する本の依頼をして、学年貸し出しをする回数が増えた。読書旬間では、学校図書館に来る機会を増やすために図書委員会が、しおり作りやスタンプラリーなどの取り組みをした。低学年だけでなく、高学年も参加しているように感じた。

児童に評価の高い本や貸し出し回数の多い本を目立つところに配架するなど実態に合わせた環境整備をした。

今年度は、読み語りを多く取り入れて、児童がたくさんの本に触れる機会を設けることができたので来年度も継続して取り組んでいきたい。

6 図書館運営計画

(1) 日常的な取り組み

- ① 読書時間の確保（週1回、朝読書） ② 読み聞かせ ③ 貸し出し冊数一人4冊

(2) 主な行事の取り組み

- ① 読書旬間年2回 ② 図書ボランティアによる読み聞かせ

(3) 図書委員会などの取り組み

- ① 読み聞かせ ② 貸し出し当番 ③ 推薦図書づくり

(4) 環境整備の取り組み

- ① 請求記号を3桁に統一し、分類の理解を深める。
② 分類表や季節の掲示等を工夫している。

(5) 司書・外部との連携

- ① 学校図書館オリエンテーションの実施やブックトーク等、支援員の積極的な連携・協働に取り組む。
② 調べ学習をはじめ、授業に必要な教材や資料について積極的に支援員への相談や情報交換を行う。
③ 図書館支援員やボランティアとの連携を深め、明るく楽しい学校図書館づくりを実践する。
④ 図書館支援員の勤務日は、中休み・昼休みの開放をできる限り可能にする。

実践の評価

図書館支援員と密に連携をとることで、新たな取り組みや学校図書館内の環境整備の工夫をすることができた。今年度の取り組みで効果的だった実践を継続していく。

7	学校図書館利活用に関する成果目標	達成基準	達成状況
①	図書館の仕組みを理解し、様々な分野の本や資料を読むようにさせる。	児童の年間平均貸出冊数：40冊	総貸出数：11009冊 40.77冊
②	学校図書館をすすんで利用し、資料や情報を集めて適切に活用できるようにする。	ICTと図書を併用した調べ学習を利用した時間数：60時間	昨年度よりも利用が増加した。
③	年間の学習指導内容に合わせ、図書館を活用した学習を展開する。	授業で図書や資料を活用した教員の割合：50%	達成している。

8 学校図書館全体に関する自己評価

学校図書館が狭いため、学校図書館内で学習することは厳しかった。学年貸し出しを行って調べ学習や授業に関連した本の紹介などに活用することができた。今年度から、専科の教員によるブックトークや図書館支援員と教員の読み語り、図書委員会による読み語りを行った。ブックトークを行うことで、本に対する関心が高まり、学校図書館に足を運ぶ児童が増えた。休み時間に図書館支援員と連携して読み語りをする中で、様々な学年が本に触れる機会を設けることができた。

昨年度と比較すると、学校図書館に来る児童や貸し出し冊数が増加しているが、高学年の利用がまだ少ないように感じる。学級内での継続的な声掛けや授業内で紹介・活用するなど工夫をして学校図書館を利用するようにしていきたい。